

平成 25 年 7 月 14 日 (日) 施行

第 171 回 全経簿記能力検定試験 1 級 会計 解説

第 1 問

1. 企業会計原則 第一 一般原則 三
2. 企業会計原則注解 [注 2] (1)

第 2 問

1. ¥20,000 商品券の受け取る (負債の減少)
¥28,500 他店商品券を受け取る (資産の増加)
2. 商品は未到着なので未着品となる。代金のうち¥250,000 は荷為替を引き受けたので支払手形で処理する。
3. 毎月の回収額のうち利益分は $¥325,000 \times 32\% = ¥104,000$
未実現の利益 $¥104,000 \times 4$ 回分 = ¥416,000 を控除する。

	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目	7 回目	8 回目	9 回目	10 回目
利益	104,000	104,000	104,000	104,000	104,000	104,000	104,000	104,000	104,000	104,000
原価	221,000	221,000	221,000	221,000	221,000	221,000	221,000	221,000	221,000	221,000

4. 必要な準備金を積み立てるとあるので、財源ごとに配当額の 1/10 を積み立てる。
自己株式処分差益 $¥1,800,000 \times 1/10 = ¥180,000$ → 資本準備金

(借) 自己株式処分差益	1,980,000	(貸) 未払配当金	1,800,000
		資本準備金	180,000

繰越利益剰余金 $¥5,000,000 \times 1/10 = ¥500,000$ → 利益準備金

(借) 繰越利益剰余金	5,500,000	(貸) 未払配当金	5,000,000
		利益準備金	500,000
5. 社債の発行価額は $¥50,000,000 \times (¥97/¥100) = ¥48,500,000$
 当期の償却額は $(¥50,000,000 - ¥48,500,000) / 5 \text{年} \times (5 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月}) = ¥125,000$

(借) 社債利息	125,000	(貸) 社債	125,000
----------	---------	--------	---------

また、決算日までの経過月数の利息は $¥50,000,000 \times 1.2\% \times (5 \text{ヶ月} / 12 \text{ヶ月}) = ¥250,000$

(借) 社債利息	250,000	(貸) 未払利息	250,000
----------	---------	----------	---------
6. 売掛金は決算日の為替レート ($\$1 = ¥94$) で換算しているので、 $\$32,500 \times ¥94 = ¥3,055,000$
 振り込みは本日のレート ($\$1 = ¥92$) で、 $\$32,500 \times ¥92 = ¥2,990,000$
 為替差損 $¥3,055,000 - ¥2,990,000 = ¥65,000$

第 3 問

【工事完成基準】

工事完成基準は、完成時に完成工事高を計上する。当期に完成した工事は甲工事である。
 完成工事高は甲工事の 58,000 千円
 完成工事原価は 19,140 千円 + 15,450 千円 = 34,590 千円
 完成工事総利益は 58,000 千円 - 34,590 千円 = 23,410 千円

【工事進行基準】

①甲工事契約

甲工事は前期に着工している。前期の工事完成高計上額は

$$58,000 \text{ 千円} \times \frac{19,140 \text{ 千円}}{19,140 \text{ 千円} + 15,660 \text{ 千円}} = 31,900 \text{ 千円}$$

当期に完成しているのので、完成工事高計上額は

$$58,000 \text{ 千円} - 31,900 \text{ 千円} = 26,100 \text{ 千円}$$

当期発生工事原価は 15,450 千円

②乙工事契約

乙工事は当期に着工している。当期の工事完成高計上額は

$$74,500 \text{ 千円} \times \frac{17,800 \text{ 千円}}{17,800 \text{ 千円} + 26,700 \text{ 千円}} = 29,800 \text{ 千円}$$

当期発生工事原価は 17,800 千円

①②より

完成工事高は 26,100 千円 + 29,800 千円 = 55,900 千円

完成工事原価は 15,450 千円 + 17,800 千円 = 33,250 千円

よって完成工事総利益は 55,900 千円 - 33,250 千円 = 22,650 千円

第4問

子会社の純資産は 75,000 千円 + 22,000 千円 + 59,000 千円 = 156,000 千円

親会社は子会社の発行済議決権株式総数の 70% を取得したので、

{	親会社持分	70%	→	109,200 千円
	少数株主持分	30%	→	46,800 千円

のれんの金額は 112,350 千円 - 109,200 千円 = 3,150 千円

連結修正仕訳は

(借) 資本金	75,000	(貸) 子会社株式	112,350
資本剰余金	22,000	少数株主持分	46,800
利益剰余金	59,000		
のれん	3,150		

第5問

〔資料2〕 検討事項

1. 当座預金

(1) (借) 当座預金	240	(貸) 売掛金	240
(2) 仕訳なし			
(3) (借) 当座預金	230	(貸) 未払金	230

(2)は未取付小切手なので、当座預金の残高は 29,320 千円 - 180 千円 = 29,140 千円となる。

残高試算表より、現金の残高は 450 千円なので、現金及び預金は

$$29,140 \text{ 千円} + 450 \text{ 千円} = 29,590 \text{ 千円}$$

2. 仮払金の処理

(借) 仮払法人税等	4,480	(貸) 仮払金	10,600
仮払消費税	5,470		
退職給付引当金	650		

3. 仮受金の処理

(借) 仮受金	7,690	(貸) 前受金	200
		仮受消費税	7,490

4. 消費税

(借) 仮受消費税	7,490	(貸) 仮払消費税	5,470
		未払消費税	2,020

[資料3] 決算整理事項

1. 売掛金の期末残高は 13,490 千円 - 240 千円 (検討事項 1 (1)) = 13,250 千円

貸倒引当金は 13,250 千円 × 1.6% = 212 千円

残高試算表の貸倒引当金残高は 50 千円なので、差額補充法により、

(借) 貸倒引当金繰入	162	(貸) 貸倒引当金	162
-------------	-----	-----------	-----

2. 売買目的有価証券の評価替え

岩木会社株式 (4.22 千円 - 3.46 千円) × 1,000 株 = 760 千円

磐梯会社株式 (2.56 千円 - 2.78 千円) × 1,000 株 = △220 千円

(借) 有価証券	540	(貸) 有価証券評価益	540
----------	-----	-------------	-----

3. 期末商品の評価

@6 千円	商品評価損なし	棚卸減耗費	商品評価損 正味売却価額 > 取得原価 ⇒ 商品評価損なし 棚卸減耗費 @6 千円 × (850 個 - 840 個) = 60 千円
@8 千円			
	a 商品		
	840 個	850 個	
@12 千円	商品評価損	棚卸減耗費	商品評価損 (@12 千円 - @11.5 千円) × 370 個 = 185 千円 棚卸減耗費 @12 千円 × (375 個 - 370 個) = 60 千円
@11.5 千円			
	b 商品		
	370 個	375 個	

帳簿棚卸商品

a 商品 6 千円 × 850 個 = 5,100 千円
b 商品 12 千円 × 375 個 = 4,500 千円 } 9,600 千円

商品評価損...185 千円

棚卸減耗費...60 千円 + 60 千円 = 400 千円

(借) 仕入	9,200	(貸) 繰越商品	9,200
繰越商品	9,600	仕入	9,600
商品評価損	185	繰越商品	185
棚卸減耗費	120	繰越商品	120

4. 減価償却

建物（定額法）残存価格ゼロ

$$(21,600 \text{ 千円} - 0 \text{ 円}) / 40 \text{ 年} = 540 \text{ 千円}$$

備品（定率法）償却率 0.250

$$(8,300 \text{ 千円} - 5,100 \text{ 千円}) \times 0.250 = 800 \text{ 千円}$$

(借) 減価償却費	1,340	(貸) 建物減価償却累計額	540
		備品減価償却累計額	800

5. 支給対象期間 6 か月のうち、当期に含まれるのは 4 か月

$$\text{賞与引当金繰入} \cdots \text{支給見積額 } 3,240 \text{ 千円} \times (4 \text{ ヵ月} / 6 \text{ ヵ月}) = 2,160 \text{ 千円}$$

(借) 賞与引当金繰入	2,160	(貸) 賞与引当金	2,160
-------------	-------	-----------	-------

6. 長期借入金 7,500 千円のうち 2,500 千円は解答欄の貸借対照表（貸方）の勘定科目より、1 年以内返済長期借入金に振り替える。

(借) 長期借入金	2,500	(貸) 1年以内返済長期借入金	2,500
-----------	-------	-----------------	-------

また、借入から決算日までは 6 ヶ月経過しているので、当期の利息は

$$7,500 \text{ 千円} \times 2.4\% \times (6 \text{ ヵ月} / 12 \text{ ヵ月}) = 425 \text{ 千円}$$

(借) 支払利息	90	(貸) 未払費用	90
----------	----	----------	----

7. 退職給付の積立

(借) 退職給付費用	1,060	(貸) 退職給付引当金	1,060
------------	-------	-------------	-------

8. 法人税の計上

仮払法人税が 4,480 千円あるので

(借) 法人税等	5,140	(貸) 未払法人税等	660
		仮払法人税	4,480